

平成27年度実質当初予算 観光戦略推進部主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・新幹線の開業効果の最大化と持続・発展に向けた新たな石川の魅力づくりを行い、観光客の満足度を高め、リピーター化に繋げる誘客施策を展開する。
- ・首都圏等での認知度をさらに向上させるための効果的な情報発信を展開する。
- ・海外誘客については、北陸新幹線開業を契機とした新たなゴールデンルートづくりを推進する施策を展開するほか、東南アジアからの誘客を強化する。

◎重点主要施策の概要

- 新幹線開業後は、全県挙げて本県の魅力を体感できる開業イベントを開催するとともに、開業効果が一段落する秋には北陸デスティネーションキャンペーンを実施し、オープニングイベントや光と映像のコンサート「ELECTRIC LIGHT SYMPHONY」を開催し、本県を訪れる観光客の満足度を高め、リピーター化を促進する。
- 石川の旅への高い期待に応えるため、本県ならではの体験型観光プログラムを開発するとともに、本県の食文化の代表格である加賀料理や鮎を、初めて訪れる観光客でも気軽に体験できるよう統一価格を設定し、広く情報発信を行う取り組みを支援する。また、来県されるお客様の声を業界団体等と共有し、迅速かつ柔軟に対応する仕組みづくりを行う。
- 首都圏等における認知度を更に向上させるため、新幹線開業効果が最大化する開業直後、開業効果が一段落する秋、そして北海道新幹線への関心が高まる年明け以降のタイミングを捉え、首都圏で開催される大規模イベントへの出展など、効果的な情報発信を展開する。
- 海外誘客については、北陸新幹線開業を契機とした新たなゴールデンルートづくりを進めるため、沿線自治体等と連携し、情報発信や旅行商品造成を推進するほか、経済成長が著しい東南アジアからの誘客を強化する。
また、小松定期便のさらなる活性化に向けた誘客活動の展開を図るとともに、外国人旅行者の満足度を高めるため、観光事業者等の受入環境整備に対して支援を行う。

平成27年度実質当初予算 観光戦略推進部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 北陸新幹線金沢開業効果の最大化と持続・発展		
(1) 開業効果の最大化と持続・発展に向けた新たな石川の魅力づくり		
ア 石川の魅力を活かした四季折々のおもてなし		
	新幹線開業PR 推進ファンド	
① ① 全県を挙げての開業イベントの開催	55,500	「いしかわ百万石・金沢祭り」(金沢城公園、5月2日～6日)、「いしかわ百万石・加賀祭り」(加賀地域3月14日～5月末)、「いしかわ百万石・能登祭り」(能登地域4月～5月末)の開催
① ① 北陸デスティネーションキャンペーンの実施(10～12月)	45,000	オープニングイベントの開催(金沢城公園、10月3日～4日)、ガイドブックの作成など
① ① 「ELECTRIC LIGHT SYMPHONY」の開催	30,000	光と映像のコンサートの開催(金沢駅もてなしドーム、10月16日)
① ① 金沢城・兼六園四季物語の開催	17,600	ライトアップによる四季の魅力発信
① ① 連続テレビ小説「まれ」を活用した能登の魅力発信	12,500	連続テレビ小説「まれ」推進協議会が実施する首都圏イベントでのPR、ホームページ等による情報発信等に対する支援、①のと里山空港での再現セットの設置など
① ① いしかわスイーツ博の開催	25,000	①「まれ」放映効果を最大限活用したスイーツフェア(10月17日～18日)、全国の製菓専門学校生によるコンテストの開催
① ① いしかわの食文化の発信に対する支援	2,000	「加賀料理」「鮎」の統一価格を設定し情報発信を行う取り組みに対する支援
① ① 本物志向の体験型観光の推進	4,000	本格的に仕事を体験できる観光プログラム「いしかわ仕事旅」の開発
① ① お客様の声を活かしたおもてなしの向上	3,000	お客様の声を観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応するための仕組みづくり
イ 開業効果の県下全域への波及に向けた受け地の取り組み		
	新幹線開業PR 推進ファンド	
① ① 本県を周遊する旅行商品づくりへの支援	7,000	県内周遊型旅行商品の造成に対する支援
① ① いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催	5,000	市町・観光団体等が発掘・磨き上げた観光素材を旅行会社の商品造成責任者に提案し、助言を受ける会議の開催
① ① 石川の観光ガイドブックの作成	4,000	繰り返し訪れる石川の観光ガイドブック改訂版の作成
① ① MICE誘致の推進	18,000	石川の魅力を活用したコンベンションの誘致、修学旅行や大学の合宿等の誘致、①加賀・能登へのエクスカーション実施等に対する助成
① ① 能登ふるさと博開催に対する支援	能登半島地震 復興基金等 62,500	灯りでつなぐ能登半島、蔵コンサート、能登秘宝めぐりなど、広域的な取り組みに対する支援
① ① 加賀地域連携による観光誘客事業に対する支援	10,000	①旅行情報誌と連携した広域観光PRツール作成、モニターツアーの実施等に対する支援
① ① 加賀四湯博開催に対する支援	15,000	Lady Kagaを活用した観光PRなど広域的な取り組みに対する支援
① ① 白山白川郷ホワイトロードの利活用促進	26,000	温泉旅館等宿泊者を対象とした白山白川郷ホワイトロード実質片道無料化支援、①マスメディアを通じた新愛称・新料金PR

事業名	金額(千円)	説明
④ 金沢マラソンへの開催支援	21,800	本大会開催(11月15日)への支援
④ 旅行需要の喚起による地域の活性化	370,000	いしかわふるさと宿泊券の発行
(2) 首都圏等へ向けた戦略的な情報発信		
	新幹線開業PR 推進ファンド	
④ マスメディア向けプロモーション活動の強化	3,000	首都圏等のTV局や雑誌社に対する石川特集の働きかけ
④ 観光誘客動画の制作	10,500	石川の観光素材を厳選した観光誘客動画の制作
④ ファミリー層向けの情報発信	5,000	首都圏等のプラネタリウムで石川の観光PR動画を放映
④ 若者向けの情報発信	5,000	加賀藩上屋敷跡のある東京大学で開催される五月祭(5月16日～17日)への出展
・ いしかわ百万石物語展の開催	5,000	都内や新幹線沿線地域の商業施設での物産展や観光PR
・ 日本橋・京橋まつりへの参加	10,000	パレードでの石川の祭りの披露、特産品を販売するブースの出展(10月)
・ ふるさと祭り東京への出展	9,500	「食」をメインテーマとしたブースの出展(H28年1月)
・ 首都圏の鉄道事業者等とのタイアップによる観光PR	16,800	JR東日本や東京メトロ等首都圏での車内広告・駅構内での観光PR、 ④東急グループ旅行会社による石川の旅行商品造成・販売など
	新幹線開業PR 推進ファンド	
・ 「ひやくまんさん」を活用したPR	15,000	活動費、ノベルティ作成など
④ 新幹線開業の話題性を活用した関西・中京圏からの誘客促進	8,000	JR主要駅での観光PR、旅行会社とのタイアップによる誘客キャンペーン
・ 県人会や観光特使のロコミによる本県の魅力や観光情報の発信	8,700	交流イベントの開催など
(3) 海外誘客の推進		
ア 北陸新幹線開業による新たなゴールデンルートづくり		
④ 北陸新幹線を活用した誘客促進	21,200	多種多様なニーズに応じた広域モデルコースの作成、 北陸新幹線を活用した旅行商品造成支援、オーストラリアからの 冬季誘客促進(長野県連携)
④ 沿線自治体等連携による海外に向けた情報発信	3,200	国際旅行博への出展(欧州、東南アジア)、④メディア招へいの実施 (欧米豪、東南アジア)
④ 交通事業者等との連携による広域周遊観光の推進	4,350	④関西・北陸エリアパスを活用した観光PR(関西圏)、昇龍道を活用した観光PR(中京圏)

事業名	金額(千円)	説明
イ 東南アジアからの誘客強化		
④ 本県の認知度向上に向けた情報発信等	19,450	石川県シンガポール事務所、福井県バンコク事務所と連携した現地イベントへの出展(④インドネシア、シンガポール、タイ)、④マレーシアの現地旅行番組での観光魅力の紹介、④インドネシア語パンフレット、ホームページ作成
・ 報奨旅行の誘致促進	2,000	シンガポール、タイからの企業担当者の招へい
ウ 小松空港定期便等を活用した誘客活動の展開	13,600	④武漢(中国内陸部、上海経由)からの誘客、旅行会社招へい、広告支援(台湾、韓国、中国)、スポーツ・レジャーツアーの誘致(台湾、韓国)、教育旅行の誘致(台湾、中国)など
エ 外国人旅行者の利便性向上		
・ 観光事業者への普及啓発	5,000	インバウンド研究会、飲食店・商業施設等を対象とした出張セミナー開催など
④ 外国人旅行者受入環境整備に対する支援	4,000	外国語表記、コミュニケーションツールの作成、公衆無線LAN整備等に対する支援
(4) 新たな観光戦略プランの策定		
④ 観光戦略プラン(仮称)の策定	5,000	北陸新幹線開業等の環境変化を踏まえた新たな観光プランの策定
(5) 観光交流施設の運営管理		
・ いしかわ動物園の運営管理	232,404	楽しく遊べ、学べる動物園の運営管理
・ ふれあい昆虫館の運営管理	108,869	昆虫とのふれあい体験施設の運営管理
・ 保健休養林施設の運営管理	151,410	森林公園、健康の森、県民の森の運営管理
2 世界に開かれた多文化の共生と交流		
④ 国際化推進プラン(仮称)の策定	3,000	本県の国際化を巡る環境変化を踏まえた新たな国際化推進プランの策定
④ 留学生を活用したいしかわの魅力発信	2,000	モニターツアー、ワークショップの開催、ホームページでの魅力発信
④ 外国青年による地域活性化に向けた交流会の開催	3,000	全国各地から参加する国際交流員・外国語指導助手による交流会及び県内視察
・ 留学生への支援	28,800	本県で学ぶ私費外国人留学生に対する奨学金の支給
・ 日本語・日本文化研修センターの運営	40,275	本県独自の日本語・日本文化研修プログラムの実施
・ 県民参加による幅広い国際交流の推進	7,508	友好交流地域(中国・韓国・ロシア)や海外県人会との青少年相互派遣、技術研修員の受入など